




対策区分	3. 森の育む人づくり	市町名	松阪市
------	-------------	-----	-----

番号	区分	事業名
3	基本・特別	森林環境学習事業
事業費 2,797,200円(うち交付金:2,797,200円)		

<p>1. 事業の目的</p> <p>市内の小学校の教室等を松阪地域の木材を使用して木質化し、児童を対象に森林の持つ機能や木材の特性についての「木育」を実施し、将来の森林の『担い手』を育成する。</p>								
<p>2. 事業の内容</p> <p>松阪地域の木材を使用し小学校の教室を木質化した。また、小学生を対象に森林環境保全や森林整備についての森林環境教育を実施した。</p> <p>【事業実施主体】松阪市 【事業費】2,797,200円 【事業の規模(事業量)】 小学校の階段踊り場の木質化4箇所(市産材使用量0.2m3)及び森林環境教育:1校 【事業実施期間】平成26年8月~平成27年3月</p>								
<p>3. 事業の実績と効果</p> <p>児童達が、市産材で木質化された教室で学ぶことにより、木材とのふれあいが進み、また、森林環境学習をすることにより、木材の活用や森林づくりへの理解が深まった。</p> <p>【事業の規模(事業量)】 小学校の階段踊り場の木質化4箇所(市産材使用量0.2m3)及び森林環境教育:1校 【事業の受益者数等】松阪市立松ヶ崎小学校:1校(児童数70人)</p>								
<p>4. 事業の評価と今後の取組方向</p> <p>【事業の評価】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価の視点</th> <th>コメント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有効性</td> <td>児童達の森林に対する理解が進んだ。児童にアンケートを実施したところ、9割以上の児童が「よくわかった」「楽しかった」等の回答であった。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>森林環境教育(ソフト面)と学校の木質化(ハード面)の両面から森林・木材へのふれあいが進み、効率的に実施出来た。</td> </tr> <tr> <td>公益性(波及度)</td> <td>小学校の全児童の70人が参加した。</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の取組方向】 児童から高評価を得たことから、次年度以降も当該事業を継続実施する。</p>	評価の視点	コメント	有効性	児童達の森林に対する理解が進んだ。児童にアンケートを実施したところ、9割以上の児童が「よくわかった」「楽しかった」等の回答であった。	効率性	森林環境教育(ソフト面)と学校の木質化(ハード面)の両面から森林・木材へのふれあいが進み、効率的に実施出来た。	公益性(波及度)	小学校の全児童の70人が参加した。
評価の視点	コメント							
有効性	児童達の森林に対する理解が進んだ。児童にアンケートを実施したところ、9割以上の児童が「よくわかった」「楽しかった」等の回答であった。							
効率性	森林環境教育(ソフト面)と学校の木質化(ハード面)の両面から森林・木材へのふれあいが進み、効率的に実施出来た。							
公益性(波及度)	小学校の全児童の70人が参加した。							
<p>5. 写真</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>								
<p>6. その他特記事項</p> <p>新聞報道、ケーブルテレビ、行政チャンネルにより広くPRを行った。</p>								

対策区分	3.森を育む人づくり	市町名	伊賀市
------	------------	-----	-----

番号	区分	事業名
3	基本・特別	伊賀の森っこ育成推進事業
事業費	1,731,653円(うち交付金: 1,731,653円)	

1. 事業の目的		
森林環境への関心や要望が高まるなか、次代を担う子ども達の森林・林業への理解と関心を学校教育の場でも学べるようにする。		
2. 事業の内容		
市内の小学校が実施する、森林のはたらきや森林・林業の歴史についての学習活動、木材利用、木工体験(竹材等も含む)、間伐体験、里山整備活動、植物・樹木観察、野生生物・昆虫観察など、森林・自然や木と関連した森林環境教育にふさわしい内容の活動に対して、活動費用を補助する。 【補助率等】活動費 10/10		
3. 事業の実績と効果		
【事業の規模(事業量)】市内小学校 14校【事業費】1,731千円(補助金額) 学校以外フィールドにおいて「森のせんせい」などの外部講師から、森のはたらきや林業について学ぶことができた。		
4. 事業の評価と今後の取組方向		
【事業の評価】		
評価の視点	コメント	
有効性	外部講師などから、森のはたらきや林業について学ぶ機会できた。	
効率性	次代を担う子ども達に学校教育の中で効率的に森への関心を広げられる。	
公益性(波及度)	森林環境教育について学校のホームページなどで公開されている。	
【今後の取組方向】		
次代を担う子ども達に森林・林業への理解と関心を広げられる事業であり、次年度は対象を中学生まで広げて継続して行く方向。		
5. 写真		
森林環境教育のようす。		
		
森の学習(友生小学校)	間伐と木材利用についてベンチ作り(西柘植小学校)	
6. その他特記事項		
学校のホームページや学校だよりなどで、広報を実施		

対策区分	3.森を育む人づくり	市町名	尾鷲市
------	------------	-----	-----

番号	区分	事業名
1	基本・特別	尾鷲ヒノキ植樹体験森林塾
事業費 1,678,678円(うち交付金: 1,678,000円)		

1. 事業の目的
 市内の小学生を対象に、ヒノキの植樹を体験してもらい、同時に尾鷲ヒノキの製品にいたるまでの手間の説明など、尾鷲の林業について知ってもらう森林塾を開講する。

2. 事業の内容
 宮之上小学校児童44人が、九鬼町の「漁民の森」において、尾鷲特有の密植の方法によるヒノキの植樹をおこなった。植樹作業にあたって、尾鷲ヒノキが植樹から製品にいたるまでの工程説明を含めた尾鷲市の林業をテーマとする森林教育を実施した。
 【事業実施主体】尾鷲市
 【事業費】1,678,678円
 【事業の規模(事業量)】0.15haにヒノキ苗 1,100本植樹
 【事業実施期間】:平成26年5月23日 ~ 平成27年1月16日

3. 事業の実績と効果
 ヒノキを植樹した面積:0.15haにヒノキ苗1,100本植樹
 尾鷲ヒノキ植樹体験森林塾事業により、森林教育が実施できた受講児童数: 44人

4. 事業の評価と今後の取組方向

【事業の評価】

評価の視点	コメント
有効性	児童達の尾鷲の林業に対する理解が進んだ。教員からは次世代へ繋がる森林教育を実施できたことで高評価を得た。
効率性	植樹体験準備にかかる植樹地整備業務委託については、県内業者参加による指名競争入札を行った。(落札率は、95%)
公益性(波及度)	宮之上小学校5年生・6年生44人が参加した、

【今後の取組方向】
 宮之上小学校においては、授業として植樹地をはじめ、尾鷲木材市場や尾鷲ひのきプレカット工場等を教材とした尾鷲の林業をテーマに森林教育を実施していく。

5. 写真



植樹前の状況
(九鬼地区 平成25年10月撮影)



植樹の状況
(九鬼地区 平成26年10月撮影)



植樹後の状況
(九鬼地区 平成26年10月撮影)

6. その他特記事項
 報道資料提供により地方紙に記事が掲載された。
 植樹実施日に参加者に「みえ森と緑の県民税」を活用していることの説明を実施した。
 実施結果を市ホームページに掲載した。
 事業実施地に「みえ森と緑の県民税」が活用されたことを表示した看板を設置した。



防災情報

詳しく見る ▶

尾鷲の観光情報

詳しく見る ▶

Q検索

ホーム

生活・手続
暮らしや福祉の情報など

市政情報
市の施策・財政状況・入札情報など

組織一覧
組織から探す

[ホーム](#) [組織一覧](#) [市有林係](#) [市有林について](#)

『みえ森と緑の県民税市町交付金事業』尾鷲ヒノキ植樹体験森林塾 結果報告

[2014年11月5日]

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます [f シェア](#) [ツイート](#)

尾鷲ヒノキ植樹体験森林塾

このたび、尾鷲市木のまち推進課では、『みえ森と緑の県民税市町交付金』を財源に、市制60周年記念事業として森林塾を開催いたしました。

● 開催日

日 時 平成26年10月17日(金)

場 所 漁民の森

● 目 的

『みえ森と緑の県民税』を活用した施策の一つである『森を育むひとづくり』をテーマに、児童が森林にふれあう機会を与え、より森林に関する理解を深め知識を育んでもらう事を目的としています。

● 事業内容

市内の小学生を対象に森林に直にふれてもらう為に、ヒノキ苗の植樹を行いました。また、森林学習においては、林業が自然界にどのような影響を及ぼすかを児童に説明し、間伐体験では、約50年生になるヒノキの間伐作業を見学してもらい、林業における間伐の必要性などを説明しました。

その後、熊野古道センターに場所を移し、木工体験として、オリジナルのヒノキスプーンを作り閉講いたしました。

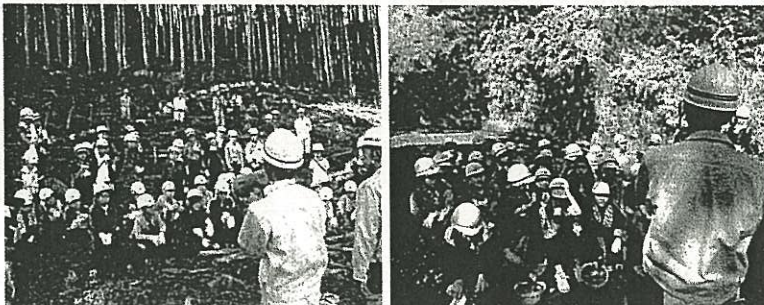
漁民の森までの道なり

- ヘルメットを着けた子供たちが初めての林内を慎重に歩いていました。



森林学習を受ける児童達

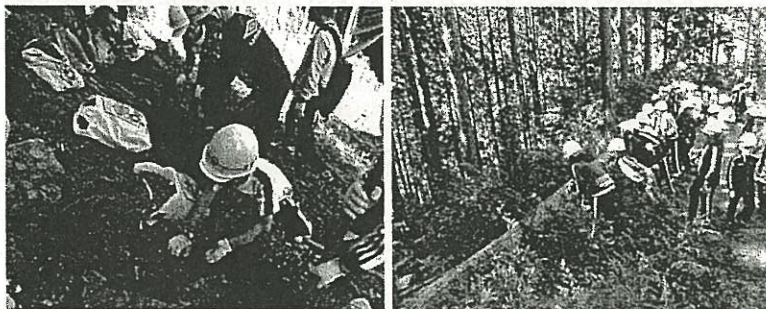
- 森林塾として、尾鷲林業の歴史としてどの様なことが行われてきたか、また、この地方の地質に合った植え方である密植の説明が行われました。間伐作業の説明では、間伐が自然に及ぼす影響などの説明が行われました。



林業体験風景

- ヒノキの苗を一人あたり25本程度植えました。初めは不慣れであった子供たちでしたが、本数を重ねるごとに上手に植えていました。

間伐体験では、目の前で大きな木が倒れるのを初めて見た子供たちが、切り倒された木を興味津々に触っていました。



木工教室としてヒノキスプーンを作りました

- 熊野古道センターにて、自分たちが作ったスプーンに、オリジナルのイラストを描いてもらいました。



ご意見をお聞かせください

このページは役に立ちましたか？

- 役に立った まあまあ役に立った どちらともいえない あまり役に立たなかった 役に立たなかった

このページは見つけやすかったですか？

- 見つけやすかった まあまあ見つけやすかった どちらともいえない やや見つけにくかった
見つけにくかった

このページに関してのご意見がありましたらご記入ください。

(注意)お答えが必要なお問合せは、直接担当部署へお願いいたします(こちらではお受けできません)。

送信

お問い合わせ

尾鷲市役所市長部局木のまち推進課市有林係
電話: 0597-23-8262 ファックス: 0597-23-8303
[お問い合わせフォーム](#)

[ページの先頭へ戻る](#)

尾鷲市役所

〒519-3696 三重県尾鷲市中央町10番43号 [市役所へのアクセス](#)
電話: 0597-23-8132(平日昼間) 23-8111(休日・夜間) ファックス: 0597-22-2111
E-mail: koho@city.owase.lg.jp (メールソフトが起動します)

Copyright (C) Owase All Rights Reserved.

平成26年度みえ森と緑の県民税市町交付金事業

番号1 尾鷲ヒノキ植樹体験森林塾



番号1 尾鷲ヒノキ植樹体験森林塾
みえ森と緑の県民税市町交付金事業費交付金 活用表示



番号1 尾鷲ヒノキ植樹体験森林塾
みえ森と緑の県民税市町交付金事業費交付金 活用表示

対策区分	3.森を育む人づくり	市町名	紀北町
------	------------	-----	-----

番号	区分	事業名
3	基本・特別	森林環境教育活動支援事業
事業費 201,202円（うち交付金：200,000円）		

1. 事業の目的
 環境林や公有林、学校林等を活用し、森林環境教育や育林体験等を通じて、森林の持つ公益的な機能や役割を県民に広く理解してもらう機会を創出する。

2. 事業の内容
 町内の小学生対象に森林環境教育や育林体験、木工体験等を実施する。
 また、森林環境教育等を実施するための学習プログラムの作成等を行う。
【事業実施主体】 紀北町、学校
【事業費】 201,202円
【事業の規模】 町内小学校児童（小学校2校【児童56名、保護者21名】）
【補助率】 10/10
【実施期間】 平成26年5月～平成27年3月




3. 事業の実績と効果
 森林の持つ公益的な機能の重要性や、植えて、育て、使い、また植林していく持続的な林業活動の重要性も広く町内児童等に理解してもらう機会が創出できた。
【事業の規模】 木育活動（小学校1校【児童27名・保護者21名】）、植樹活動（小学校1校【児童29名】）
【事業の受益者数等】 小学校2校（児童56名・保護者21名参加）

4. 事業の評価と今後の取組方向
【事業の評価】

評価の視点	コメント
有効性	森林環境の重要性への理解が深まった。
効率性	林業関係者や行政、教育機関等が連携し、地域の素材を用い、地域の指導者による森林環境教育が実施できた。
公益性 波及度	森林環境の重要性への理解が深まり、次世代を担う児童がより良い環境づくりに役立てることが期待される。

【今後の取組方向】 森林面積が9割近くを占める紀北町においても、自然（森林等）で遊ぶ機会がほとんど無くなりつつある。このような現代の子ども達に、森を訪れてもらい、植林や間伐等の実体験又は木育活動を通じて、まずは自然を身近に感じてもらい、体験の中から森林等の大切さを学ぶような体験プログラムを実施していく。

5. 写真

（着手前写真） 	（状況写真） 	（着手後写真） 
--	---	--

6. その他特記事項
 広報きほく5月号に事業実施記事を掲載。